

MRI検査 造影剤使用同意書 兼 問診票

高砂市民病院

1) ぜんそくはありますか？

なし あり ~ぜんそくの方は原則禁忌です~

2) アレルギー疾患はありますか？

なし あり (花粉症・アトピー・アレルギー性鼻炎
食物・薬剤アレルギー〔 〕・その他〔 〕)

3) 過去に造影剤を利用した際に副作用はありましたか？

初めて
 なし あり [症状:]

~ガドリニウム造影剤に対し過敏症の既往歴のある方は禁忌です~

4) 腎機能障害について

※なるべく3ヶ月以内のデータ記入をお願いします。 e G F R 値 : _____
血清クレアチニン値 : _____

なし あり 透析中

~e G F R 値が30未満の方(透析中の方を含む)は
NSF[※]の原因となるためガドリニウム製剤は使用できません~

5) その他、疾患の該当について

なし 重篤な肝機能障害 てんかん 痙攣

6) ヘモクロマトーシスなどの鉄過剰症について

なし あり ~症状悪化のおそれがあるためリゾビスト(SPIO)は使用できません~

7) 検査上必要となりますので体重を右の欄に記入してください。 体重 _____ k g

※NSF：重篤な腎障害がある方にGd製剤を使用した際に生じるおそれのある疾患で、全身性の線維化を主症状とするものです。

同 意 書

私は造影検査を受けるにあたり、検査の必要性や副作用などの危険性について了解しましたので造影検査を受けることに同意します。

また、副作用や合併症が起こった際の処置を受けることも併せて同意します。

※ 同意された場合でも、いつでも撤回することができます。

検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者さま署名 _____

代理人署名(続柄) _____

問診の結果、上記内容に基づいての造影剤使用が可能と判断し検査を依頼します。

依頼医師署名 _____

MR I 造影剤説明書

高砂市民病院

1) 造影検査について

造影剤という薬を静脈注射しながら行う検査です。造影剤を使用することで異常の有無や病変の性状、範囲など詳しく描出することができ、より正確な診断を行うことができます。

2) 副作用について

近年の造影剤は改良されて副作用が出る頻度は低下し、その程度もより軽度になってきています。しかし体に合わず副作用がでることがあります。そのほとんどは軽症で検査直後（1時間以内）から症状が出る場合が大半ですが、まれに24時間以上経過してから症状がでる場合もあります。

① 軽症：かゆみ、吐き気、嘔吐、じん麻疹、紅潮、鼻汁、くしゃみ、のどの違和感など（約100人に1人）

② 重症：血圧低下、息苦しさ、意識消失（約1万人に1人）また、極めてまれですが死亡に至った例もあります（40万人に1人）

現在、副作用の発生を予知する方法はありません。体質によって造影剤の投与が出来ない場合がありますので、危険性を減らすために問診をさせていただきます。同意された場合でもいつでも撤回することができます。

※アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍高いと報告されています。なかでも喘息の方は約10倍高いとされています。また造影剤を使用すると腎臓に負担をかけることがありますのでこのような疾患に該当する方はあらかじめ主治医にご相談下さい。

3) 合併症について

一部の造影検査では急速に造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合、注射部位がはれて痛みを伴うこともありますが数日で治癒します。はれや痛みなどの症状が強い場合、処置が必要になる場合があります。

注意事項

※人工透析が行われている方、高度な腎機能障害のある方は腎性全身性線維症（NSF）の原因
※授乳中の方は検査終了後48時間授乳を避けてください。

※腹部造影検査の方は、3時間前より何も食べないでください。

ただし、お茶・水など（牛乳・乳製品以外）の水分は十分とってください。